

○9番 松田紗英君

中京中学校2年、松田紗英です。私は、中高生の遊び場について質問します。

行橋市には、小学生までを対象とした遊び場はありますが、中高生が気軽に集まって遊べる場所は、あまり多くないと感じています。放課後や休日には、ゆめタウンなどの商業施設を利用することもあります。遊びや交流を目的とした施設ではないため、中高生が安心して楽しめる場所は限られています。

また、近年は、スマートフォンを利用する時間が増えています。室内型の遊具や体を動かして遊べる施設があれば、スマートフォンから離れる時間をつくることができ、友達との交流を深めることにもつながると考えます。

そこで質問です。行橋市では、中高生が天候に左右されずに利用できる室内型の遊び場の整備について、執行部は、どのようにお考えでしょうか。

○前半議長 和嶋富夏君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えします。とても重要なことだと思います。

まず、中学生未満、小学生ですね、0歳から小学校6年生までのお子さん方を対象にした遊び場は、ことしの3月20日に、あそぼっちゃんが出来上がりました。7月末時点で、お子さん方だけで、これは登録したお子さんをカウントしただけでも、延べ人数で3万3,803人、既にご来場いただいております。我々が予測するよりもかなり早いスピードでご利用いただいております。いろいろな課題もいただいているんですけども、走りながら改善していくというかたちで対応させていただいております。

議員が今おっしゃった中高生を対象とした室内型の遊び場、これについては、現時点ではそういった計画はございません。ただ、やっぱり新設するにはお金もかかりますし、それからエリアをどうするかなど、いろいろと検討課題はあろうかと思いますが、どのようなかたちがいいのかというのは、これ全く考えない、ではなくて、模索する必要があるのかなと思っておりますので、ぜひ一緒にお知恵を絞っていただきたいというふうに思います。以上です。

○前半議長 和嶋富夏君

松田議員。

○9番 松田紗英君

遊び場は整備しないとしても、中高生が安心して楽しめる場所の整備は、どのように考えていますか。ゆめタウンのフードコートなどは、おしゃべりはできますが勉強は禁止されています。リブリオ行橋は、勉強はできますが静かな雰囲気なので、おしゃべり

とかはしづらいです。周囲に気を遣わずにおしゃべりや勉強、友人と交流できる場所を整備していただけないでしょうか。

○前半議長 和嶋富夏君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

議員ご指摘の現在の行橋市において、中学生・高校生が周囲に気兼ねなく、おしゃべりや勉強、友人との交流を自由に楽しめる場所が十分でない、というご意見は、重要なお意見であると考えております。

商業施設のフードコートは、会話できるものの勉強は難しく、リブリオ行橋は、学習スペースとして活用いただいているものの、静かな環境の中でのおしゃべりや交流にはなじみにくいという現状があることも承知しております。また、リブリオ行橋1階のカフェスペースについては、滞在時間に制限があるなど、中高生が長時間にわたって自由に利用できる環境とはなっておりません。

現在、教育委員会では、中高生の居場所づくりの一つとして、リブリオ行橋の有効活用を考えています。リブリオ行橋の1階にあります、けやきホールを予約が入っていない時間帯に中高生を含む子どもたちに開放して、おしゃべりや勉強、友人との交流に利用できるスペースとして活用することはできないか、検討をしているところであります。

まずはトライアルというかたちで、同じく1階にあるパレットスペースという、以前書籍を販売していた場所を活用して同様の取り組みを始めたところです。ぜひ利用されてご意見をいただければと思います。

中高生の居場所づくりについては、新たな施設の整備にとらわれず、既存施設の有効利用、機能拡大も視野に入れて、実現可能な方策を検討してまいります。以上です。

○前半議長 和嶋富夏君

市長。

○市長 工藤政宏君

私のほうからも、お答えさせていただきたい思います。

まず、この中高生を対象とした遊び場というところですが、まず市内だけにとらわれる必要はないと思います。近隣には様々な施設といったものがございます。

例えば北九州市もありますし、あえて言うならば、まちを飛び出るということも一つの方法だと思います。それは、いろんな経験をするという意味でもそうですし、例えば、映画館というのは長年要望があるのですが、調査をすると、行橋で映画館をつくっても、なかなか映画館の経営が成り立たないというデータが、実はもう民間の調査で出ています。そういったところで、例えば映画を観るなら北九州市に行って観るということもで

きると思います。

またもう一つ、駅東口をこれからもうちょっと元気にしていきたい、という考えがございます。その中で、拠点づくり、人が集まる場所をつくりたいと思っています。その中には、現時点でも中高生、それから大学生とか若い世代の方々も一緒に集まれるような場所をつくりたい、というふうに考えておりますので、そういった計画を進める際にも、ぜひともご意見をいただければと思います。

また公園も、これからもっといろいろと変えていきたいと思っています。室内だけではなくて、総合的に考えてまいりたいと思います。以上です。

○前半議長 和嶋富夏君

松田議員。

○9番 松田紗英君

前向きな回答を、ありがとうございます。次の質問に移ります。

給食の献立のプリントの配布について。以前は、給食の献立プリントが配布されていましたが、現在は配布されなくなっています。献立プリントがあると、その日の給食の内容を確認しやすく、食への関心を高めることにもつながると思います。

そこで質問です。給食献立プリントの配布がなくなった理由を教えてください。また、今後配布を再開する予定はありますか。

○前半議長 和嶋富夏君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

松田議員のご質問にお答えいたします。

給食の献立プリントの配布につきましては、SDGsの取り組みや資源の有効活用の一環として、令和6年2月分より、従来の紙ベースから献立表のペーパーレス化を推進するため、アプリやホームページで公開させていただき、必要に応じて各自でご確認・印刷をお願いしております。

学校連絡アプリすぐーるや防災食育センターのホームページでは、いつでも、誰でも、すぐに献立表を確認することができ、また紙では、一目ですべて見ることができる利便性があることから、それぞれのご家庭に合わせた献立表の活用をお願いしているところであります。

もし、紙ベースの献立表のほうがいいなと思うときは、掲示用など予備の献立表があると思いますので、先生に気軽に相談してみてください。以上であります。

○前半議長 和嶋富夏君

松田議員。

○9番 松田紗英君

前向きな回答、ありがとうございます。そのようなことをして給食の配布プリントを考えていきたいと思います。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。